

タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1105		
科目名	倫理学 1		
担当教員	先崎 彰容		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	火 1		
講義室		単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育科目		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目の位置付け (開発能力)	<p>■ D P コードー学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-D〔市民的素養・市民的教養〕市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 DP4-I〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP7-C〔他者理解・倫理観・公共心〕人間の行動の正誤に関する推論に正面から取り組み、社会的な存在としての自己の行動原理を獲得することができる。</p> <p>■ C R コードー学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモン・ルーブリック (C R) との関連 C1(70%)倫理的思考・社会認識 D1(20%)市民的素養と参加 I1(10%)理解・分析と読解</p>		
教員の実務経験	特になし		
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 1 萌芽期		
科目概要・キーワード	<p>倫理学とは、人間はどう生きるべきか、現代社会にどのような特徴があるか、人間と社会との関りを考える学問であります。現代人はどのような価値観を前提として生きているのか、過去の人間とどのように価値観は変容してきたのか、人間と社会の倫理のあり方について考察する。授業形態は講義により行います。</p> <p>(キーワード) 現代社会・東日本大震災・ニヒリズム・グローバル化</p> <p>なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するために、講義形式のほかに、原則オンライン授業(オンデマンド型・ライブ配信型)を取り入れる場合があります。開講曜日・時限に授業動画配信及び課題等を提示します。</p>		
授業の趣旨	<p>■副題 現代社会を「深く」理解するために</p> <p>■授業の目的 現代の社会問題に関心をもてるようになり、倫理学とは何かを理解するのである</p> <p>■授業のポイント 現代日本社会と、新型コロナ禍に引き裂かれた国際社会を「深く」理解し、生き方についてまなぶのである</p>		
総合到達目標	<p>■上記の「授業の目的」を達成することで、現代社会を理解・分析するための武器を身に付けることができるべきである。またその結果、現代社会のいくつかの事例―新型コロナ禍、少子高齢化、グローバル化、若者の孤立化、国際的なテロ事件の頻発―等について、人間の内面心理にまで踏み込んで理解できるようになるべきである。</p>		

	<p>■「個別行動目標」として、倫理的思考を駆使して、現代社会の状況を、俯瞰してみる事ができるようになるのである。</p>												
成績評価方法	<p>■リアクションペーパー：30%(15回) 適用ルーブリック C1 (70%)、D1 (20%)、I1(10%) (評価の観点) 適用ルーブリックに基づき、教員が行います。 (フィードバックの方法) リアクションペーパーの内容を教員が精査し、適切な方法によって返答します。</p> <p>■期末のレポート：70%(1回) 適用ルーブリック C1(70%)、D1(20%)、I1(10%) (評価の方法) 講義内で取り組んだ課題消化・表現応力を正確に理解しているかを教員が確認いたします。 (フィードバックの方法) 教員による講評等をつうじて、フィードバックを行いません。</p>												
履修条件	特にございません。												
履修上の注意点	特になし												
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td> <p>① ガイダンス ② 授業内容の説明、スケジュール、および成績評価の方法について説明を行います。「倫理学1」で学生諸君に求める「到達目標」などについても、あらかじめ説明を行う予定であります。 ③ 予習 (120分) 指定した教科書を購入したうえで、興味をもった部分について一読しておくべきです。 ④ 復習 (120分) ガイダンスで示した参考文献について、図書館等で手に取ってみるべきです。</p> </td> </tr> <tr> <td>2</td> <td> <p>① 「倫理学」とは何か①——東日本大震災を経験して ② そもそも、倫理学とは何なのだろうか。またなぜ、学ぶ必要があるのだろうか。もちろん答えは授業全体を通じて与えられます。しかし学び始めるにあたって、「今、なぜ倫理学なのか」について一つの提案をしたいです。具体的には、2011年3月11日に起こった東日本大震災を例に、人間にとって生とは何か、死とは何か、戦後日本とは何か…など、様々な倫理的課題を考える際のきっかけを与えます。結果、自分自身で現代社会の「問題」を発見できるようになるべきである。 ③ 予習 (120分) 東日本大震災について、ネット検索等でよいので、興味をもった部分を通読してみるべきだ。 ④ 復習 (120分) 教科書『ナショナリズムの復権』の「あとがき」を読んでみるべきだ。</p> </td> </tr> <tr> <td>3</td> <td> <p>① 「倫理学」とは何か②——東日本大震災と戦後日本 ② 第2回の講義で取りあげた東日本大震災について、もう少し議論を続けたいです。危機管理学を専攻するにあたり、テロ対策、国土強靱化などハード面についての学習はおおいに大切でありましょう。たいして、「倫理学1」は、主に人間の精神面、すなわちソフト面について注目したいです。「あの震災」は私たちにいったい、何を教えてくれるのか。戦後全体を見渡すような、大きな課題が浮上してきていることを示します。前回発見した「問題」を、より具体的に考察できるようになるべきである。 ③ 予習 (120分) 『さらば、資本主義』の第三章を通読しておくべきだ。 ④ 復習 (120分) 講義の内容を参考に、今一度、『さらば、資本主義』の第一章を読解し、自分なりの意見をまとめてみるべきである。</p> </td> </tr> <tr> <td>4</td> <td> <p>① ひととは「一人」で生きていけるか ② 現代社会の諸問題を中心に考える「倫理学1」では、少子高齢化社会のなかで、若者も高齢者とともに「孤立」している現状があることに注目します。そもそも「個人」であることは「自由」なことなのだろうか。震災や戦後日本について触れた前回からの連続性を意識し、具体的事例に触れつつも、課題を「人間とは何か」という抽象的な問題にまで深めて考察します。「個人」を、抽象的に考える力が身につくようになるのである。 ③ 予習 (120分) 『さらば、資本主義』の第十章を通読しておくべきである。 ④ 復習 (120分) 講義の内容をふまえたうえで、もう一度、『さらば、資本主義』の第十章を読みなおし、自分の意見をまとめてみるべきである。</p> </td> </tr> <tr> <td>5</td> <td> <p>① 少子高齢化社会をどう考えるか ② 前回は、人間を襲う「孤独」の意味について考えてみました。では、実際に孤独とは眼の前の現実でどう展開しているのか——「少子高齢化社会」に突入したとされる日本では、その制度面だけでなく精神面でも多くの課題が噴出し始めている社会です。その問題を、前回の「孤独」をヒントに考えてみることにします。 ③ 予習 (120分) 少子高齢化について、ネット検索等でよいので、興味を持った記事をまとめておくべきだ。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	<p>① ガイダンス ② 授業内容の説明、スケジュール、および成績評価の方法について説明を行います。「倫理学1」で学生諸君に求める「到達目標」などについても、あらかじめ説明を行う予定であります。 ③ 予習 (120分) 指定した教科書を購入したうえで、興味をもった部分について一読しておくべきです。 ④ 復習 (120分) ガイダンスで示した参考文献について、図書館等で手に取ってみるべきです。</p>	2	<p>① 「倫理学」とは何か①——東日本大震災を経験して ② そもそも、倫理学とは何なのだろうか。またなぜ、学ぶ必要があるのだろうか。もちろん答えは授業全体を通じて与えられます。しかし学び始めるにあたって、「今、なぜ倫理学なのか」について一つの提案をしたいです。具体的には、2011年3月11日に起こった東日本大震災を例に、人間にとって生とは何か、死とは何か、戦後日本とは何か…など、様々な倫理的課題を考える際のきっかけを与えます。結果、自分自身で現代社会の「問題」を発見できるようになるべきである。 ③ 予習 (120分) 東日本大震災について、ネット検索等でよいので、興味をもった部分を通読してみるべきだ。 ④ 復習 (120分) 教科書『ナショナリズムの復権』の「あとがき」を読んでみるべきだ。</p>	3	<p>① 「倫理学」とは何か②——東日本大震災と戦後日本 ② 第2回の講義で取りあげた東日本大震災について、もう少し議論を続けたいです。危機管理学を専攻するにあたり、テロ対策、国土強靱化などハード面についての学習はおおいに大切でありましょう。たいして、「倫理学1」は、主に人間の精神面、すなわちソフト面について注目したいです。「あの震災」は私たちにいったい、何を教えてくれるのか。戦後全体を見渡すような、大きな課題が浮上してきていることを示します。前回発見した「問題」を、より具体的に考察できるようになるべきである。 ③ 予習 (120分) 『さらば、資本主義』の第三章を通読しておくべきだ。 ④ 復習 (120分) 講義の内容を参考に、今一度、『さらば、資本主義』の第一章を読解し、自分なりの意見をまとめてみるべきである。</p>	4	<p>① ひととは「一人」で生きていけるか ② 現代社会の諸問題を中心に考える「倫理学1」では、少子高齢化社会のなかで、若者も高齢者とともに「孤立」している現状があることに注目します。そもそも「個人」であることは「自由」なことなのだろうか。震災や戦後日本について触れた前回からの連続性を意識し、具体的事例に触れつつも、課題を「人間とは何か」という抽象的な問題にまで深めて考察します。「個人」を、抽象的に考える力が身につくようになるのである。 ③ 予習 (120分) 『さらば、資本主義』の第十章を通読しておくべきである。 ④ 復習 (120分) 講義の内容をふまえたうえで、もう一度、『さらば、資本主義』の第十章を読みなおし、自分の意見をまとめてみるべきである。</p>	5	<p>① 少子高齢化社会をどう考えるか ② 前回は、人間を襲う「孤独」の意味について考えてみました。では、実際に孤独とは眼の前の現実でどう展開しているのか——「少子高齢化社会」に突入したとされる日本では、その制度面だけでなく精神面でも多くの課題が噴出し始めている社会です。その問題を、前回の「孤独」をヒントに考えてみることにします。 ③ 予習 (120分) 少子高齢化について、ネット検索等でよいので、興味を持った記事をまとめておくべきだ。</p>
回	内容												
1	<p>① ガイダンス ② 授業内容の説明、スケジュール、および成績評価の方法について説明を行います。「倫理学1」で学生諸君に求める「到達目標」などについても、あらかじめ説明を行う予定であります。 ③ 予習 (120分) 指定した教科書を購入したうえで、興味をもった部分について一読しておくべきです。 ④ 復習 (120分) ガイダンスで示した参考文献について、図書館等で手に取ってみるべきです。</p>												
2	<p>① 「倫理学」とは何か①——東日本大震災を経験して ② そもそも、倫理学とは何なのだろうか。またなぜ、学ぶ必要があるのだろうか。もちろん答えは授業全体を通じて与えられます。しかし学び始めるにあたって、「今、なぜ倫理学なのか」について一つの提案をしたいです。具体的には、2011年3月11日に起こった東日本大震災を例に、人間にとって生とは何か、死とは何か、戦後日本とは何か…など、様々な倫理的課題を考える際のきっかけを与えます。結果、自分自身で現代社会の「問題」を発見できるようになるべきである。 ③ 予習 (120分) 東日本大震災について、ネット検索等でよいので、興味をもった部分を通読してみるべきだ。 ④ 復習 (120分) 教科書『ナショナリズムの復権』の「あとがき」を読んでみるべきだ。</p>												
3	<p>① 「倫理学」とは何か②——東日本大震災と戦後日本 ② 第2回の講義で取りあげた東日本大震災について、もう少し議論を続けたいです。危機管理学を専攻するにあたり、テロ対策、国土強靱化などハード面についての学習はおおいに大切でありましょう。たいして、「倫理学1」は、主に人間の精神面、すなわちソフト面について注目したいです。「あの震災」は私たちにいったい、何を教えてくれるのか。戦後全体を見渡すような、大きな課題が浮上してきていることを示します。前回発見した「問題」を、より具体的に考察できるようになるべきである。 ③ 予習 (120分) 『さらば、資本主義』の第三章を通読しておくべきだ。 ④ 復習 (120分) 講義の内容を参考に、今一度、『さらば、資本主義』の第一章を読解し、自分なりの意見をまとめてみるべきである。</p>												
4	<p>① ひととは「一人」で生きていけるか ② 現代社会の諸問題を中心に考える「倫理学1」では、少子高齢化社会のなかで、若者も高齢者とともに「孤立」している現状があることに注目します。そもそも「個人」であることは「自由」なことなのだろうか。震災や戦後日本について触れた前回からの連続性を意識し、具体的事例に触れつつも、課題を「人間とは何か」という抽象的な問題にまで深めて考察します。「個人」を、抽象的に考える力が身につくようになるのである。 ③ 予習 (120分) 『さらば、資本主義』の第十章を通読しておくべきである。 ④ 復習 (120分) 講義の内容をふまえたうえで、もう一度、『さらば、資本主義』の第十章を読みなおし、自分の意見をまとめてみるべきである。</p>												
5	<p>① 少子高齢化社会をどう考えるか ② 前回は、人間を襲う「孤独」の意味について考えてみました。では、実際に孤独とは眼の前の現実でどう展開しているのか——「少子高齢化社会」に突入したとされる日本では、その制度面だけでなく精神面でも多くの課題が噴出し始めている社会です。その問題を、前回の「孤独」をヒントに考えてみることにします。 ③ 予習 (120分) 少子高齢化について、ネット検索等でよいので、興味を持った記事をまとめておくべきだ。</p>												

	<p>④ 復習 (120分) 講義で使用した独自プリントを参照し、少子高齢化と孤独について、新しく学んだ知見をまとめなおすべきである。</p>
6	<p>① 民主主義とは何か ② 「民主主義は大事である」とは、小学校の社会科くらい、常に教えられてきました。しかし本当に絶対的に正しい価値観なのでしょうか。問題はないのか？こうした社会常識を疑うことを学ぶための試金石として「民主主義」を取り上げ、様々な方向から考え直してみたいと思います。 ③ 予習 (120分) 民主主義という言葉から喚起されるイメージについて、まとめておくべきである。 ④ 復習 (120分) 講義の内容をふまえたうえで、予習段階での民主主義のイメージが、どのように変化したか、自分の考えをまとめるべきだ。</p>
7	<p>① ニヒリズムとは何か ② 「ニヒリズム」とは、今から一世紀以上前、ドイツ人ニーチェの吐いた警句です。では、この言葉は何を意味しているのだろうか。また、異国の倫理学者の吐いた言葉が、なぜ、21世紀の日本にとって重要なのだろうか。戦後の日本に関係するのか——こうした問題意識に基づいて、授業を進めます。現代日本社会を、過去の思想家の言葉によって立体的に診てみようというわけでありませう。 ③ 予習 (120分) ニヒリズムという言葉について、ネット検索等でよいので、調べておくべきである。 ④ 復習 (120分) 講義の内容をふまえてみると、ニヒリズムという言葉が深い意味を持っていることがわかった。それを自分なりにまとめておくべきである。</p>
8	<p>① 「自由」とは何か ② 「自由」という、一見してすべての人が肯定するはずの価値観は、本当に「正しい」のだろうか？様々な選択肢に「自由」に開かれているのは、そんなに楽しく、開放的なことなのか。世間の常識を疑うことから講義を始めます。 ③ 予習 (120分) 戦争は私たちにとって縁遠い。『さらば、資本主義』第二章を通読しておこう。 ④ 復習 (120分) 講義の内容をふまえたうえで、もう一度、『ナショナリズムの復権』第一章を読み直してみよう。</p>
9	<p>① 「自分」とは何か ② 「自分」という存在はかけがえのない存在です。しかし「自分」のことばかりを考えることはよくないことだ、他人を尊重せよとも言われます。この常識がいったい何を背景にした発言なのか。前回同様、当たり前だと思われている価値観を疑うことから始めます。 ③ 予習 (120分) 『さらば、資本主義』の「まえがき」を通読しておくべきだ。 ④ 復習 (120分) 講義の内容をふまえたうえで、『ナショナリズムの復権』の「はじめに」を再度、読み直してみるべきである。</p>
10	<p>① 「恋愛」とは何か ② 「恋愛」という、一見して大学の講義内容になじまない問題を取り上げると、さまざまな倫理的課題が見えてきます。例えば、「恋愛」は自分個人の好みの問題ではなく、時代状況から深い影響を受けているとすれば、どうでしょう？—自分で選択しているつもりなのに恋の話が、実は時代状況から深く影響を受けていることを理解したいと思えます。 ③ 予習 (120分) 「恋愛」について、どのようにイメージするか。箇条書きで自分の理解をまとめておくことが大事である。 ④ 復習 (120分) 講義の内容をふまえたうえで、もう一度、「恋愛」と時代状況を俯瞰し、まとめるべきである。</p>
11	<p>① 「グローバル化」とは何か ② 「国際社会で活躍する人材」と聞くと、皆が憧れる事でしょう。しかし新型コロナ禍によって、明らかになったように、航空業界などグローバル企業ほど、深刻な影響を受けました。本当に、国際的に活躍することはよいことだけなのか？パンデミック後の社会を知っている皆さんと考えることにしたいと思います。 ③ 予習 (120分) 『さらば、資本主義』の第五章を通読しておくべきである。 ④ 復習 (120分) 講義の内容をふまえたうえで、『ナショナリズムの復権』の第四章をもう一度、読み直してみるべきである。</p>
12	<p>① 「原子力発電」とは何か ② 東日本大震災による原発事故は、原発の賛否を沸き起こしました。しかし倫理学では、賛否を言う前に、なぜ、原発を必要としたのか、時代背景や日本人の行動を立体的に俯瞰することから始めます。そして戦後日本人の生き方にまで「深く」冷静に考えることを目指したいと思います。 ③ 予習 (120分) 『さらば、資本主義』の第一章を通読しておくべきである。</p>

	④ 復習 (120分) 講義の内容をふまえたうえで、『ナショナリズムの復権』の第五章をもう一度、読み直すべきである。
13	① 「つながり方」の倫理学① ② 1990年代以降のわが国、特に大震災以降、しばしば私たちは「絆」という言葉を使いました。すなわち、今日の最大の倫理的課題は、人びとの「つながり方」にあるように思われます。これまで、5回にわたり過去の思想家の戦争と倫理学にまつわる知的格闘をみてきました。彼らの思想を参考に、現代社会を見直します。すると、どのような新しい見方ができるか。それを「つながり方」をキーワードに考察することができるようになるのだ。 ③ 予習 (120分) これまで通読してきた『さらば、資本主義』から興味をもった部分を、もう一度、読み直しておくべきである。 ④ 復習 (120分) 講義で取り扱った資料を比較対照し、自分の興味を抱いた論点について、数行程度でまとめておくべきだ。
14	① 「つながり方」の倫理学② ② 前回同様、ふたたび現代社会に視線を移したうえで、私たちが取り組むべき課題を、「つながり方」をキーワードに見直してみます。どのような集団が今、理想として目指されているのか。そこに問題や課題はあるのか、なのか。具体的事例を挙げながら、理解を深めます。眼の前の事柄だからこそ、一喜一憂せず、冷静に時代を分析できるようにするのだ。 ③ 予習 (120分) 前回の復習でまとめた自分の意見を参考に、今、生きている社会で、どうすれば「つながり」が作れるのか、考えるべきである。 ④ 復習 (120分) 予習をふまえて、講義も参照し、あるべき現代社会の連帯のあり方を、模索、提案してみるべきである。
15	① ふたたび、「倫理学」とは何か ② 最終回となる今回は、これまでの学習を総復習するとともに、討論・レポート形式の授業を行います。身近な事例も多かった「倫理学1」において、学生自身が何を考え、また発見したのかを問う。積極的な授業参加を求めます。 ③ 予習 (120分) 全14回の講義と、前回の自分なりの考えを、もう一度見直しておくべきだ。 ④ 復習 (120分) 講義中に提出したレポートについて、自分なりにどう評価するか、考えてみるべきであるはずだ。
関連科目	科目コード：01010003哲学1 科目コード：01010009宗教学1
教科書	■佐伯啓思『さらば、資本主義』（新潮新書、2015年）
参考書・参考URL	原則的に、授業内で配布するプリントを毎回持参する。その他、必要な文献については、授業中に適宜指示を行う。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知する ■オフィスアワー 火曜日2時限 それ以外の時間について、メールにてアポイントをとれば研究室で対応する。
研究比率	

